

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年12月20日

事業所名 こぼんはうすさくら西大宮教室 保護者等数(児童数) 15(17) 回収数 14 割合 93%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14件	件	件	件	2階だけでなく1階でも活動できる時もあり、スペースが確保されていると思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13件	1件	件	件	安全性については欠けるところがある。 人数が多く手厚いと思う。	安全に活動するためにも、状況に応じた適切な職員配置を行うようにしていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11件	3件	件	件		玄関及び屋内の階段で移動が難しい児童は、手すりを持ち職員の見守りの下で昇降するようにしている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14件	件	件	件	面談で話したことなど日頃の様子から計画が作られていると思う。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14件	件	件	件	個別の課題や発達を促す活動が沢山あり、子どもも楽しく参加していることが多くありがた。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8件	6件	件	件	コロナで制限されていることもあるので、落ち着いたら一緒に活動する機会があると良い。	団体利用の制限が解除され次第、児童館での交流の機会を持ちたい。それ以外にも交流の場がないか探っていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14件	件	件	件	支援方法について連絡帳や送迎時に教えてもらっている。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14件	件	件	件	課題が発達に合っていたり、その都度教えてもらい分かりやすい。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13件	1件	件	件	日頃の様子も記録してもらい、育児の参考になっている。	連絡帳などによる相談以外にも、職員との交流の場を設けるなどしながら、支援を受けやすい環境を整えていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12件	2件	件	件	都合がつけば参加したい。保護者会で情報交換ができてありがたい。保護者同士の連携を望んでいる。	年1回の保護者会以外にも、保護者の方が気軽に参加できる催しを検討していきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13件	1件	件	件	苦情対応については迅速に管理者が対応してほしい。 他書をした時やされた場合に詳しく教えて頂きありがたい。	現在、苦情受付担当者が状況把握、関係者に聞き取りをし、責任者へ速やかに報告し必要な対応を行っている。改めて教室内、保護者の皆様と共有し、対応を強化していきたい。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13件	1件	件	件		連絡帳、電話、メール、直接口頭などで、状況に応じた適切な手段を使用していく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14件	件	件	件	こぼんだよりに行事や活動内容、写真もあり、よく分かる。	
14 個人情報に十分注意しているか	14件	件	件	件			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13件	件	1件	件	コロナ対策は何回も出されて周知されていると思う。 説明されていない。	策定したマニュアルは玄関に設置・閲覧可能となっているので、会報や面談などで周知していく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12件	2件	件	件		毎年、年2回の避難訓練を実施している。内容について会報や面談、保護者会にて伝えていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14件	件	件	件	土曜イベントが楽しいことばかり。休日も朝からワクワクしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	13件	1件	件	件	手厚く見てもらい助かる。とても満足している。通常活動は満足。安全性、トラブル対応、リスクマネジメントは欠けていると思う。	安全・安心して利用頂くためには、ご意見を頂いた項目につき上記の通り改善していく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年12月20日

事業所名 こばんはうすさくら西大宮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件	件	利用人数は常時確認の上、受け入れている。	面積は適切だが構造上狭く感じることがあるため、児童や職員が活動しやすいようにグループ分けを行うなど、スペースを確保していく。
	2	職員の配置数は適切である	5件	件	法令に基づいた職員配置を行っている。	個別課題や活動、個別対応時の担当などについては、様々な状況を予測しながら決定、臨機応変に対応できるように事前の打ち合わせを行えるようにしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3件	件	階段昇降時の見守り	玄関前の階段には手すりがついているものの、歩道に面しているため、降りる時に他の通行と接触する恐れがある。児童が降りる時は一緒に職員が安全を確認する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4件	件	日々の振り返り、月1回のカンファレンスで出動者が参画。不在でも日誌などで確認可能。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件	件	面談時、送迎時などでも意向を把握、職員で共有し業務に反映させている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3件	件	こばんはうす本部HPにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1件	件	特になし	現時点では第三者評価は未実施。今後については検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件	件	内部研修、外部研修への参加の機会を提供。個別に参加を打診している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5件	件	アセスメント面談後、個別支援会議を実施し作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3件	件	課題によって簡易的なツールを使用。	臨床心理士(公認心理師)の発達検査を活用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4件	件	毎月複数の職員で協議し、立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4件	件	療育内容が偏らないように、週単位でバランスを取り領域を設定している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4件	件	日々の課題、休日などに集中して取り組む課題に分けて目標を設定、支援	児童の成長につながるより細やかな支援スキルの習得
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4件	件	コミュニケーションや身辺自立の課題など個々の特性に応じた活動を想定して作成	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3件	件	書面等で確認	送迎の関係上、事前打ち合わせを全員で行うことは難しい。個別課題の変更、活動内容、担当者などの共有はしているため、より細やかな支援方法等については最低2人の職員で予め打ち合わせし、全員で共有できるようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件	件	終業前に行い、他職員の気付きを共有。次回の支援につながるようになっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件	件	記録のポイントを共有し、課題に沿った支援、検証などに生かしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5件	件	毎月児童の様子をまとめ、カンファレンスにて支援内容について検討。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4件	件	偏りのないよう支援している。	地域交流についてはコロナ禍でもあるので、社会情勢をみながら行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3件	件	過去に1回開催。児童発達支援管理責任者が参加した。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5件	件	学校送迎時に児童の様子について確認の上引き渡しを受けている。ご家庭の協力により、下校時刻については把握している。	一部の学校とできているように、ご家庭の了承を得て課題を共有し、連携を取りながら取り組めるようにしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1件	1件	現在対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4件	件	同一建物にある児童からの継続利用が多い為、日頃から情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	件	1件	現在まで対象児童なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2件	件	今年度はオンライン講座を受講した。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	件	1件	コロナ禍により中断。公園などで自然な関わりは多少見られる。	近隣の児童館の団体利用制限が解除され次第、交流の機会を持ちたい。それ以外にも交流の場がないか探っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	件	件	参加実績なし。	機会があれば参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件	件	連絡帳や送迎時に様子を伝え合うようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2件	件	児童の個々の課題に対して、共に考えてる形で支援している。	将来的に実施につなげるために、研修などへの参加を検討したい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4件	件	契約時、変更時に書面や口頭で説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4件	件	相談を受けた場合は、送迎時や電話で応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4件	件	保護者会を年1回開催している。	年1回の保護者会では時間も限られ、事業所側からのアナウンスに時間が割かれてしまう。年1回の保護者会以外にも、保護者の方が気軽に参加・交流できる催しを検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5件	件	現在苦情受付担当者が状況把握、関係者に聞き取り、責任者へ速やかに報告し必要な対応を行っている。	現在の対応について改めて教室内、保護者の皆様と共有し、対応を強化していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	件	事業所内新聞「こぼんだより」を月1回発行	
	35	個人情報に十分注意している	5件	件	特に問題なし	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件	件	児童との意思疎通、情報伝達には特性や発達に応じた提示を行っている。	保護者とのコミュニケーションでは、連絡帳、電話、メール、直接口頭でなど、状況に応じた適切な手段を使用していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	2件	実施例なし	状況をみながら検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4件	件	玄関に設置し、誰でも閲覧可能となっている。	保護者の方には会報などを通して周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4件	件	避難訓練を年2回実施。	実施の頻度、訓練の種類を増やしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4件	件	入職時及び年1回実施。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1件	件	該当なし	見込まれるケースについて今後協議をし、対象児童がいる場合には個別支援計画に記載していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2件	件	該当児童はいない。ご家庭で心配なケースは相談しながら対応している。	必要に応じて対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件	件	その都度振り返り、職員同士で対応を協議、対策を共有している。	